



東京お茶の水ロータリークラブ



ロータリーは世界をつなぐ

2019-20年度 RI 会長
マーク・ダニエル・マローニー

ロータリーの原点に立ち
親睦と和と輪による奉仕活動の推進
2019-20年度クラブ会長 永井 一史

本日の卓話

東京アンダーナイト 昭和が愛したニューラテンクォーター ニューラテンクォーター元社長 山本 信太郎様

プログラム

司会進行	相倉 辰徳会員
開会点鐘	永井 一史会長
手に手つないで ソングリーダー	奥山 聡会員
来客紹介	大原 正道会員
ニコニコ報告	相倉 辰徳会員
会長報告	永井 一史会長
幹事報告	西村美智子幹事
委員会報告	
出席報告	木村 良成会員
卓話	
閉会点鐘	永井 一史会長

ゲスト

米山奨学生 付 達文さん



出席報告

会員数	37 名
出席数	17 名
欠席数	20 名
ゲスト	1 名
ビジター	0 名
7/3 修正	85%

今後の卓話予定

【7 月】

31 日 休会

【8 月】

7 日 「未定」
13 日 休会
21 日 「演題未定」 竹内 眞哉様
(榊山崎帝國堂 代表取締役社長)
28 日 会員卓話

【9 月】

4 日 「演題未定」
慈久庵 小川 宣夫様

永井 一史会長

- ・日本のロータリー100周年記念バッジ申し込みのお願いがきております。テーブルの上にご案内を配布しました。
- ・米山奨学生の付さんに7月分の奨学金をお渡しします。

西村美智子幹事

- ・7月度定例理事役員会の議事録を配布いたしました。ご確認ください。
- ・親子はねやすめへのご協力、ありがとうございました。

7/10 納涼家族親睦会の件 大原 正道統括委員長

先週の納涼家族親睦会にご参加いただきました皆様ありがとうございます。会員 21 名、ゲスト 8 名、合計 29 名の出席で、大盛況になりました。木村会員にもご尽力頂きありがとうございました。

ロータリーの友 7 月号の紹介 松島 健雑誌会報委員長

7 月号には、RI 会長 マーク・ダニエル・マローニー氏の紹介と全地区のガバナーの紹介が載っています。6 頁に「ロータリーとは」「日本のロータリー」「ロータリーの目的」「四つのテスト」は毎回載っています。6 月号の友愛の広場に、広島西 RC 諏訪会員の、「例会で君が代合唱の始まりは？」があります。確実な記述はありませんが、最も有力な情報が京都 RC の資料にありました。1927 年頃から、日本は侵略外交への転換が進み、1933 年には国際連盟脱退の事態となりました。1933 年、国家社会党から「ロータリーは国家思想に反するフリーメーソンの外郭団体だ」と誹謗した書面が京都 RC に送られてきました。その後、社会党京都支部長と会見し、毎月 1 回一定の例会で国歌を合唱して国家観念の協調をすることで了解を得て解決しました。1940 年、日本のロータリークラブが国際ロータリーを脱退後、「水曜会」と和風の名称に変えて例会を継続していました。ロータリーの歴史が 6 月号に載っています。

ニコニコボックス

永井 一史会長 本日のフォーラムでの積極的御意見を期待いたしております。
斉藤 雅夫会員 7 月 10 日の納涼家族親睦会、お世話になりました。
高山 肇会員 お天気になりました！
大原 正道会員 本日のクラブフォーラム、これからのお茶の水 RC の運営を皆さんで考えましょう。
奥山 聡会員 クラブフォーラム、よろしくお祈いします。
牛島 聡会員 納涼家族親睦会、体調を崩して欠席しました。申し訳ございません。
山下 憲男会員 昨日は RLI の講習があり、新人として講師を務めることになりました。

計 25,000 円 累計 75,000 円

2019-20 年度 第 1 回 クラブフォーラム

クラブ収入の黒字化を目的とする、入会金の納入復活について

司会進行 西村美智子幹事

本日の目的は、財務健全化の対応策をどのように考えたらいいかです。

意思決定プロセスのルールの確認です。最高意思決定機関は理事役員会であり、クラブフォーラムでの意見に基づき、次の理事役員会にて審議・決定致します。

入会金免除をテーマとしたクラブフォーラムは、2016 年 9 月 14 日に行われ、既に 2016-17 年度の予算が承認されている事項には触れず、採択されました。その予算では入会金が有料になっていましたが、その後の理事会にて予算を再審議されることなく決まってしまうしました。(土居会員より)

今回は皆様のご意見を伺って、改めて理事役員会で協議したいと思います。

黒字化は収入を増やすか、支出を減らすかが対応策として考えられます。

収入の増加の一つとして、入会金です。「入会金とは奉仕の理念の実践を目的とした同好の人の集まり。その意識を共有する証が入会金です。」それを踏まえて、入会金を復活するか、免除とするのか。もしも、入会金復活の場合、金額はいくらとするか、また、固定か、何かの状況に応じて変動するか。開始するとしたら、適応開始時期はいつかというようなことも検討課題になります。

また、クラブ協力負担金等の寄附金として、ニコニコのような形で募る、または寄附金箱を回す。開始するとしたらいつからか。

継続的な収入になるものとしては、年会費があります。単年度ベースで赤字にならないように調整して負担する。

または、ニコニコ（特別会計）からの補填です。しかし、本来、ニコニコは奉仕活動費に充てるべきものとされていることの整合性をどう考えるか。

収入を増やすという点では、会員増強が最も効果的ではありますが、今回は外して考えて下さい。重要な問題であることには変わりありませんが。

支出減少の対策として、奉仕活動の見直しが考えられます。例えば、社会奉仕活動の見直しを行い、不要なものは対象外としても良いのではないかと。

他に削れる支出項目はあるか。

また、他クラブの運営状況をリサーチすることもあるかと思えます。

皆様のご意見を伺う前に、欠席された牛島会員、土居会員、木宮会員の意見を紹介します。

牛島 聡会員

1. 入会金の復活の可否について⇒復活に反対

そもそも入会金の廃止は会員増強に苦慮し、その対策として決定したものです。その道は半ばです。入会金を廃止してからの会員増強率からみても継続は当然だと考えます。増強に大変貢献されている山下会長エレクトのご意見によれば、若手を勧誘するには入会金がハードルになるとの事なので、そのご意見は尊重されるべきです。

年齢によって入会金の金額を設定する案も以前議論されましたが、結論は受け入れられなかったと記憶しております。

2. 年会費の値上げの可否⇒可

現在のクラブ運営費に削減できるところが無いので有れば、応分の負担を会員で補うしかないと考えます。年会費の増額分を設定し、その実行は3年後として、それまでは余剰金からの補填で補い会員の増強に努める案は如何でしょうか。

3. その他代替案

①クラブ寄付金制度の導入。実質的な会費値上げですが1口を1万円として、半期1口以上を会員全てがクラブに寄付する。

②入会時 40 歳以上の新入会からは入会金を再開する

土居 岩生会員

1. 背景についてのコメント

2016 年 9 月 14 日のフォーラムの際、2016-17 の予算が認可されている事項に触れず採決された。(その予算は入会金を取る事になっていた)

2. 組織に於いて議論を呼ぶのは人事と会費です。

ロータリーの基本を理解しないで、人事(事業を含む)と会費(予算の一部)の変更をやる時は、その場凌ぎでなく慎重に又 情報を共有しましょう。クラブ運営は、会員イーブンの責任と権利です。

3. 入会金とは

ロータリーは、奉仕の理念の実践を目的とした同好の人の集まりです。その意識を共有する証が入会金だと思います。

4. 入会金の金額はともかく、入会金は、取るべきです。収入不足を、補うのは年会費ですが(ニコニコ資金を本予算に入れるのは慎重に) その前に会員基盤の強化を真剣に皆が実行しましょう。2 年間で純増 5 人を行い、それが実現されない時、年会費の値上げをするしかありません。

張 碧華会員

入会金免除は、効果があつて会員増強になった事実を踏まえて、2 年間延長してから、議論、検討されたらどうか。

木宮 雅徳会員

自営業者であるので常に、将来が見えないなかで、社会奉仕ということをやっているのか？(特に我々の出版業界は、昨今、大変不安定です)

当初入会を渋っていた具体的な理由は以下です。

- ・ロータリアンの活動で現業の時間を奪われるので大丈夫だろうか？
 - ・金銭的な問題(中小企業に取ってはかなりの負担)
 - ・そもそもそういう身分ではないのではないかと？
- しかし、山下さんとの人間関係もある中で、以下のことを決心しました。

- ・入会金免除であれば、まずはやってみてから考え

る。→自分がそういう身分でないと感じた時点で退会すればいい。(大変不埒なことで批判を浴びる覚悟でお伝えします)

- ・たまたまですが、弊社の新規事業(アジアからのインバウンドプロモーション)との関連性が何かあるのではないかと→実際に台湾やタイの海外のロータリークラブとの交流や千代田区(秋葉原、岩本町、神保町など)の重鎮の方々との繋がりもできました。
- ・基本的に我が妻は、ロータリークラブ活動に若干批判的です。なので、確実にロータリークラブ活動を現業に何らかの形で繋げないといけません。以上が私の今までの2年半の率直な感想です。

自分自身が入会金なしで入会させていただいたこともあります。私以外のロータリークラブ活動が、直接ビジネスに関係ない方々も多くいらっしゃると思いますので、「入会金免除を継続する」ことには賛成させていただきます。

○クラブ運営の財源確保

例えば僕が昨年度担当した国際奉仕に関しては、4つの案件に10万円ずつ予算が付きまして。結局4つめのベトナムのTAOさんの件は実現しなかったのですが、この時に3つの案件は先輩方々からの「引き継ぎ案件」でした。もし、予算的に2案件だけ、または20万円までという制約などがあれば、予算は削減できたと思います。個別案件に関する予算のマネージメントを強化するというのはいかがでしょうか。

石渡 伸幸会員

- ・入会金については、免除することを一度決定したのであるから、これを踏襲し、黒字化は他の案で考えるべき。

松島 健会員

- ・木宮さんの意見はもっとも。
- ・会員増強を優先すべき。
- ・例えば、ニコニコの何%かを運営費に回すことも一考の価値がある

永井 一史会長

- ・奉仕活動はニコニコで充当されるものであり、ニコニコは豊富な繰越金があることを勘案すると、木宮会員が言われる奉仕活動を削減する必要はない。まずは会員の増員とニコニコの何%かを運営費に回すという松島会員と同意見です。

俣野 幸昭会員

- ・繰越金の各会計1千万円は過去の会員の負担によるもの。これを取り崩して使用するのではなく、入会金、年会費を問わず、全会員が何らかの形で応分の拠出をするべきだと思う。

傅 健興会員

- ・昔と今では会員の組成が異なる。クラブは時代の変化に伴い、変わっていかないといけない。
- ・繰越金は残しておくのが目的ではない筈。
- ・最近、沈滞ムードがガラッと変わり、若い人が増えクラブが活性化した。これは入会のハードルが下がったからと思われます。

- ・ニコニコは従前暗黙の予算があり、一定額の拠出を行ったが、それは何かあった時のために使うものである。また、各会員が同じ額を拠出する必要もない。仮に不足するような場合には、その每期考えれば良い。
- ・つまり、入会金はハードルを下げるため不要。年会費も全員が同額である必要はなく、負担可能な会員が随時、任意に寄附等することにより賄えばよい。

齊藤 雅夫会員

- ・入会金は敷金と同じで、ゼロではいけない。1万円であったとしても、入会金として徴収すべき。
- ・休会会員の年会費を当てにするのは本来間違っている。これを当てにしなくても可能な状態とすべき。

高山 肇会員

- ・基本的に年会費を上げるべきと考える。例えば前期後期各1万円UPするとか。入会金はしばらくの間、取らずにそのままとしたうえで様子を見ることにしたらどうか。

大原 正道会員

- ・若い人が入りやすいようにするためには、ないに越したことはない。
- ・齊藤会員のように、培ってきた伝統あるロータリーに入会するのであり、また、入会に際して諸費用もかかるので、その費用ぐらい入会金を頂くのも一つの考えだと思う。
- ・収入は会費のUP(前期後期各1万円~5千円)を考えるたらどうか。
- ・支出を削減する方法として、今年度は卓話の謝礼を3万円から2万円とした。
- ・ニコニコは貯めるだけではなく、有効的に活用すべき。例えば20%を運営費に回すルールを作る。または、ニコニコとは別に運営のための寄附金を募るシステムを作るのも良いと思う。

岡田 邦男会員

- ・他のクラブでは、卓話の謝礼を、ロータリアンは記念品のみ、他は1万円としているところもある。これを見習うべき。
- ・入会金は取らない。
- ・若い人は、今の年会費でも精一杯であろう。
- ・例えば、出席したら寄附金を一人1,000円ずつ頂ければ今の補填ぐらいにはなる。細かい工夫が必要。
- ・会員増強ということで、資格がないような人を誘うのはよくない。ロータリアンとしてのステータスを保つような会員増強とすべき。

笠原 健太郎会員

- ・例えば、2017年の地区関係費が、70万円の予算に対して188万円の支出になっている。これは何のお金でしょうか。予算通り行っていれば問題がなかったと思う。

戸部 八郎会員

- ・繰越金があるのだから使用すればよい。本会計が赤字でも良いのではないかと。2~3年様子を見て、

それでも赤字であれば、臨時の会費を集めて相殺する方法でもよいのではないか。

山下 憲男会員

- ・入会金がなくなって、新入会員を増やすことができたので、入会金 0 は効果がある。オーナーではない社長は経費厳しく社内根回しが大変。
- ・若い人は資金的に余裕がないのは事実。
- ・今年度ビジョン員会を任されています。若い会員 8 人が委員なので、必ず 1 人 1 名入会させるようにすれば、4 人ぐらいいは増えると思う。

神保 宏充会員

- ・入会金がないのは有難い。20 万円の入会金は正直高いと思う。あったとしても、入会に伴う経費相当額（数万円位）を徴収するのは良いのではないか。
- ・入会金を会の経営基盤増強のためにとるのであれば反対。
- ・単年度の黒字とすべき。どうしても足りないのであれば値上げもやむを得ないが、18 年度の実績が出ていない段階で、直ちに年会費を上げるのは時期尚早。
- ・一番必要なのは会員の増強である。数名でも増えれば補填できるので、我々若手が頑張っていかなければならない。

奥山 聡会員

- ・入会金は一時的であり当てにすべきではない。
- ・年会費が足らないのであれば、会員相互で公平平均にして透明性が高いのが望ましい。
- ・奉仕活動はニコニコからということであれば、社会奉仕、国際奉仕も含めてすべての奉仕活動をニコニコから補填しても構わないと思う。
- ・入会金の復活については、ロータリーは入会して初めて良さがわかるので、入り口はハードルを下げて入会してもらうのが先決。

相倉 辰徳会員

- ・入会金がないのは有難い。自分が入会金を支払っていないので、自分が勧誘する立場になった場合、相手に入会金を要求するのは難しい。
- ・2019 年度の予算が赤字ですが、赤字のまま運営することには疑問を感じる。解決策が会員を増やすことであれば、入会金をなしにしてハードルを低くすることは正しいことだと思う。

海江田 健司会員

- ・入会金がないのは有難い。

西村 美智子幹事

- ・繰越金は予算オーバーになった時のために充当するべく、予算の段階でそれを当てにするのは良くない。単年度での赤字は何らかの方法で回避すべき。

創 立 1993 年 10 月 13 日（平成 5 年）
例会日 毎週水曜日 12:30～13:30
事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-2
 グラントメゾン九段 906 号
 Tel：03-3288-7300 Fax：03-3288-7400
http://tokyo-orc.jp/ E-mail：ocha-rc@sirius.ocn.ne.jp

例会場 ホテルグランドパレス

Tel：03-3264-1111

会 長：永井 一史 幹 事：西村美智子

会報委員長：松島 健

会報委員：木村・木宮・佐々木・八木・山下